

科目区分	専門分野			科目番号	1004	曜日時間	不定期
授業科目	母性看護学援助論Ⅲ						
単位数	1 単位	時間	16 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員	森岡 弓恵						
授業目的	ウェルネスの志向を主軸としたアセスメントの視点から、対象が健康を保持増進し、新しい役割を獲得していくために必要な援助技術を学ぶ。						
中核	生命誕生の場における看護過程の展開と援助						
授業目標	1. 対象が健康を保持増進し、新しい役割を獲得していくために必要な母性看護技術の基本を理解する。 2. 母性看護に特徴的な援助技術の基本を演習を通して理解する。 3. 事例を基に母性看護過程の考え方を理解する。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	備考		
	1	母性看護学における看護過程の特徴 性看護学領域におけるウェルネス型看護診断の意義 問題解決志向とウェルネス志向の違い 演習の進め方・事例内容の確認	講義	2			
	2	母性看護学でのウェルネス志向型看護診断の実際 情報の整理 アセスメント『情報のもつ意味』について探求する	講義・GW	2			
	3	看護上の課題（看護診断） 看護計画 優先順位の決定	講義・GW	2			
	4	模擬保健指導 ロールプレイテーマ決定 指導案・シナリオ作成	講義・GW	2			
	5	指導案・シナリオ修正 指導資料（パンフレット等）を作成	講義・GW	2			
	6	ロールプレイの発表にむけた準備・リハーサル	講義・GW	2			
	7	各保健指導案にもとづいてグループメンバーが協力して 模擬保健指導のロールプレイを実施し、学びを共有する	必修 (演習)	2	G発表		
8	模擬保健指導内容 ①心理的状況が安定するための対応・働く女性の健康管理 ②体重管理・社会生活や家族関係の調整・出産に向けた準備 ③分娩に対する準備状況・産後を見据えた準備 ④満足な出産にむけての準備 分娩の流れ・リラックス法等 ⑤母乳育児に向けての準備 ⑥沐浴指導 目的や用意する物 留意点等 ⑦沐浴指導 実施	2					
評価計画 方法	筆記試験40% 思考過程成果物40% 演習・グループ活動20%						
テキスト 参考図書	森 恵美ほか：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論 【電子版】 医学書院 森 恵美ほか：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論 【電子版】 医学書院						
事前学習 事後学習	GWにおいて、役割分担・スケジュール調整し、講義ごとの課題達成に努めること						
実務歴 有	看護師・助産師：病院勤務 16年 看護教員：学校勤務 6年						
講義への 反映	助産師として、病院勤務・助産院経営の実績から母性領域の変遷をとらえた授業を展開する。病院・助産院の経験を踏まえ、妊娠期・産褥期の看護過程と沐浴の技術に関して、よりリアルに感じることができるよう授業を構築する。						
備考	紙ファイル【A4】を各自準備しておくこと						